

12月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
エッセイ	12月2日	184097	好きな食べ物がみつからない	古賀 及子	1,600	四六版 並製	288	1979年東京生まれ、神奈川、埼玉育ち、東京在住。ライター、編集者。2003年ウェブメディア『デイリーポータルZ』にライターとして参加。2023年『ちょっと踊ったりすぐにかげだす』(素粒社)を発売。2024年2月『おくれ毛で風を切れ』(素粒社)、『気づいたこと、気づかないまのこと』(シカク出版)を出版。『北欧、暮らしの道具店』で「5秒日記」を連載。『群像』『母の友』『仕事文脈』などにもエッセイを寄稿。4月に柴崎友香さんとの対談イベントなど、イベントにも積極的に登壇。	●「本の雑誌」が選ぶ2023年上半期ベスト 第2位に選ばれた名作『ちょっと踊ったりすぐにかげだす』の著者がおくる、初の食エッセイ！ 「好きな食べ物は何か？」この問いに、うまく答えられないあなたへ。 “やっぱり見つけたい。「好きな食べ物」は、どこかにきっと、あるはずなのだ。” 自分のことは、いちばん自分が、わからない。 「好き」をさぐる脳内の逡巡を、濃厚かつ軽快に描いた自分冒険観察エッセイ。
文芸	12月9日	184059	Nの逸脱	夏木 志朋	1,600	四六版 並製	288	1989年大阪府生まれ。大阪市立第二工芸高校卒。2019年、本作にて第9回ポプラ社小説新人賞受賞、単行本タイトル『ニキ』で作家デビュー。同作を改題した『二木先生』（ポプラ文庫）が累計15万部を突破。	●累計15万部突破！文庫『二木先生』著者の単行本最新作！ 爬虫類のペットショップでアルバイトをする金本篤は、売れ残ったフトアゴヒゲトカゲが処分されそうになるのを見て、店長に譲ってくれと頼む。だが、提示された金額はあまりに高額で手が出ない。そんな折、街で偶然見かけた男に狙いをつけ、あいつを強請って金を得ようと一計を案じるのだが……。自ら仕掛けた罠が思いがけぬ結末を呼び込む「場違いな客」など、息もつかせぬ3話。日常の深淵を暴露する修羅場のエンタテインメント！
文芸	12月9日	184080	花咲小路二丁目 中通りのアンパイア	小路 幸也	1,700	四六版 上製	328	1961年北海道生まれ。『空を見上げる古い歌を口ずさむ』で第29回メフィスト賞を受賞し、デビュー。著書に累計100万部を突破した『東京バンドワゴン』シリーズ、『カレンダーボーイ』『COW HOUSE』『ピースメーカー』『東京公園』など多数。	●シリーズ累計20万部突破の人気シリーズ最新作！ たくさんのユニークな人々が暮らし、日々大小さまざまな事件が起きる花咲小路商店街。宇宙家の五人姉弟の末っ子・禄朗は、十四歳年下の元オリンピック選手・ユイと婚約したばかり。〈たいやき波平〉の店主として働きながら、休日はアンパイアとして活躍する大の野球好き。結婚を目前に、禄朗はユイに自分の秘密を打ち明ける。それは「人がその言葉に込めた嘘がわかる」という内容で――？
文芸	12月9日	184240	余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話	森田 碧	1,400	四六版 並製	352	北海道出身。2020年、LINEノベル「第2回ショートストーリーコンテスト」にて「死神の制度」が大賞を受賞。2021年に『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』（ポプラ社）でデビューし、2022年には「第17回 うさぎや大賞」入賞。「よめぼく」シリーズは累計50万部を突破し、2024年にNetflixにて映画化。	●シリーズ累計50万部突破のベストセラーが単行本化！ 書き下ろしSS付！ Netflixにて映画大好評公開中！ 「よめぼく」待望の単行本化！ 高一の冬、早坂秋人は心臓病を患い、余命宣告を受ける。絶望の中、入院している桜井春奈と出会う。春奈もまた重い病気で残りわずかの命だった。自分の病気を隠して彼女と話すようになった秋人は、死ぬのが怖くないと言う春奈に興味を持つ。自分はまだ恋をしてもいいのだろうか？ 自問しながら過ぎる日々に変化が訪れて……？

11月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
絵本	11月5日	183786	あのこはね	福田 利之	1600	A5判上	40	株式会社SPOONにて佐藤邦雄に師事した後、独立し、イラストレーターとしての活動を始める。広告、CDジャケット、絵本、雑貨、テキスタイル制作など、幅広く手掛けている。主な著書に『福田利之作品集』（玄光社）、）、主な装画に『52ヘルツのクジラたち』（町田そのこ・著／中央公論新社）、『クララとお日さま』（カズオ・イシグロ・著／早川書房）など多数。	かなしいきもち、うれしいきもち、たのしいきもち…… 突然あらわれるいろんなきもちは、どこからくるの？ やっていいことと、悪いことの間で葛藤しながら、大人に近づいていく子供の成長を描いた絵本です。子供の視線をとおしてみる世界は、どこか少しファンタジー。ページをめくると、広がる世界をお楽しみください。自身の幼いころを思い起こしながら、またお子様といっしょになど、それぞれの楽しみ方をしていただきたい1冊です。
エッセイ	11月11日	183793	私のまんまで生きてきた。	平野 レミ	1500	四六変型並	192	料理愛好家、シャンソン歌手。主婦として料理を作り続けた経験を生かし、NHK「平野レミの早わざレシピ」などテレビ、雑誌を通じて数々のアイデア料理を発信。また、レミパンやエプロンなどのキッチングッズの開発も手がける。2022年、『おいしい子育て』（ポプラ社）で第9回料理レシピ本大賞エッセイ賞受賞。	「嫌な人とは付き合わなくていいの」「満足できない毎日のほうがいいじゃない」「立っているものはいずれ倒れるでしょ」。 平野レミさんの人生哲学が詰まった渾身の言葉集。ずっと元気で生きるための思考法、料理に対する心構え、2人の息子の子育て方針、両親の教え、嫁との上手な付き合い方、最愛の夫・和田誠さんとの思い出……レミさんの大きな声で再生される100の言葉たち。イラストと貴重な写真もふんだんに収録。前向きに生きる力がきっと湧いてきます。
実用	11月11日	183809	読み書きが苦手な子を見守るあなたへ 発達性読み書き障害のぼくが父になるまで	著：関口裕昭 監修：宇野彰 イラスト：千葉リョウコ	1400	A5判並	160	関口裕昭：発達性読み書き障害の当事者であり、子どもと関わる言語聴覚士。読み書きの苦手な方が生きやすい社会を目指し、活動を続けている。現在は育児と仕事の両立に奮闘中のパパでもある。 宇野彰：筑波大学元教授、発達性ディスレクシア研究会理事長、NPO法人LD・Dyslexiaセンター理事長。医学博士。言語聴覚士。読み書きが困難な子どもたちの指導をするかたわら、指導ができる先生を増やすために尽力している。	読み書きの苦手な子は、40人クラスに約3人！ 好評『うちの子は字が書けない』シリーズ第3弾は、発達性読み書き障害とともに歩んできた当事者である「ぼく」が、これまでの歩みと未来を語る。原因がわからず学校の課題をこなせなかったくやしさと、苦しさを。障害を理解し、将来を模索し続けた日々。自立するとはどういうことか、学校や家族ができる、よりよい支援の形とは何か。発達性読み書き障害について、発信を続け、理解を深めていくことの意味。言語聴覚士、また父として日々奮闘する著者の、希望と決意に満ちたメッセージ。